

みんなのわ

発行日	令和3年 2月20日
編集者	会長 勝俣三郎
発行	御殿場市ボランティア連絡協議会
電話	0550-70-6801

～より強い絆「みんなのわ」～

新生活様式の新年を迎え、会員の皆様には いかがお過ごしでしょうか、例年に増して心の絆をより強く、変わらぬご好情お付合いを お願い申し上げます。

自粛生活が続き、皆様方の施設・団体の行事も、ことごとく自粛・延期・中止等により お目にかかることも出来ず、想う度に心中にて ご無沙汰を お詫びしております。

昨年は東京オリンピック開催にはしゃぎスタートしましたが、豪華客船ダイヤモンドプリンセス号の新型コロナウイルス感染に始まり、「全世界が目に見えない人類最大の敵新型コロナウイルス」との戦い 終息への努力も虚しく 1年が暮れ、今だ先の見えない毎日、世界が不安のどん底に立たされ、危機感真っ只中、医療関係者の方々に感謝する一方 負担を掛けたくない 私たちの出来る事は、不自由に思えますが先ずは 感染を広めないためにも、国の方針に従うのが一番大事だと感じます。今日まで何千年もの間 人類は繰り返し逆境を乗り越え生命を継いで現在が有るものと思います。また昨年は、梅雨の豪雨により各地に発生した河川氾濫による甚大な災害にも悩まされました。コロナ禍以前の「当たり前」が いかに幸せか思い知らされています。私たちが当然の様に接している「土・水・空気」を怒らせているのが現在の人間社会です。「土・水・空気」そして、この地球・資源に感謝してこそ穏やかな生活が送れるのではないのでしょうか。



コロナ禍も 二波・三波と依然世界中での人の流れが途絶、日本では、2度目の緊急事態宣言が発せられ、解除にも見通しが付かない今日、ボランティア連絡協議会は 一日も早いコロナ終息を願って例年通りの行事を計画予定しております。

会員の皆様には、くれぐれもお身体にお気を付けいただきまして 元気に再会出来ますよう心より願っております。

健やかに過ごして下さいませ。一時も早い安全なワクチンの接種を切望します。

御殿場市ボランティア連絡協議会 会長 勝俣三郎

障害者週間に参加しました！！

12月3日から9日は障害者週間です。交流センター「ふじざくら」では、11月30日から12月18日までパネル展示が行われました。ボランティア連絡協議会の登録団体の他にもいくつかの団体が参加されていました。団体紹介のほかに、フェアトレードで作られた小物とか、ガーゼのハンカチなど並んでいました。要約筆記サークルでは新しい充電式補聴器のパンフレットもありました。以前見た、ある本の紹介で「本書では『障害』という表記を使用していきます。そしてもし、悪い意味の『害』があったとしてもそれは障害者の側ではなく、障害者に対する社会の側にあるのです」とありました。本はまだ読んでいませんが、補装具とかユニバーサルデザイン、また、周りの人の意識が社会的に充実すると障害の程度が軽くなるということなのだろうか、と思いました。まず、障害を知ることが大切なのでしょうが、何人ぐらいの来場者があったのか気になりました。

御殿場市ボランティア連絡協議会 副会長 小宮山

～市婦連福祉グループ～

福祉グループは令和2年度会員32名でスタートしました。

主な活動は、月2回2時間程施設にお邪魔し、軽作業のお手伝いをさせていただき、たまにイベントにも参加させていただいています。

今年度はコロナ事情により残念ながら活動はできず訪問は控えさせていただきました。

会員同士も会える機会が少なくなる中で、折り紙教室と鍋敷き作り教室を実施しました。しばしの時間、顔を見ながら手を動かしながら、コミュニケーションすることができました。

まだ、しばらくはコロナ状況が心配ですが、できる環境の中でグループの絆を深めてまいります。



連絡先 ■市婦連福祉グループ
〒412-0004
御殿場市北久原 323-6
電話 0550-89-1435
【代表・担当：勝又明美】

～御殿場市手をつなぐ育成会～

御殿場市手をつなぐ育成会は、障がい者（児）の親の会です。60年以上の歴史があります。

市内在住の障がい者が親と一緒に楽しく活動しています。現在はコロナの影響で活動は十分にできませんが、ボランティア連絡協議会の皆様の支援を頂き、外出を楽しみに出掛けています。

親以外の方との外出の経験は貴重な時間です。

親子バス旅行では、貸切バスで県外にも出掛けて楽しい1日を過ごしています。水族館・遊園地・バイキングなど皆が楽しめるよう計画します。さくらんぼ狩り・ぶどう狩りはなかなか家族では出掛けられない場所に行きます。ボランティア連絡協議会の方々には、クリスマス会にも参加していただき楽しい1日を過ごします。

昨年は美味しいお弁当とプレゼントを用意しました。

体操教室もインストラクターにお願いし親子で楽しく汗を流します。一般の方も参加して下さっています。ストレッチから始まり、楽しい音楽に合わせて踊ったりもします。90分があっという間に過ぎます。皆さんも参加してみませんか？ふじざくらの大ホールが会場ですので安心してご参加ください。

このように様々な活動を通して、多くの人に障がい者の理解が深まる事を切に願います。

障がいがあって社会の一員として社会参加できる。そんな社会の実現のため（インクルージョン）私たちも多くの機会をつくり社会参加しています。



連絡先 ■御殿場市手をつなぐ育成会
〒412-0042
御殿場市萩原988-1
電話 0550-82-1884
【会長：外山 富士子】

～御殿場民踊グループ～

私達御殿場民踊グループは、何時でも笑顔で明るく楽しく踊りましょうと、民踊で少しでもお役に立ちたいと考え結成いたしました。

昨年、2月には社会福祉協議会主催の独居高齢者のふれあいの場「ふれあい会食会」で余興をさせていただき、私達だけでなく参加者の皆様とも楽しく踊ることができました。

しかし、現在、新型コロナウイルスの影響により「ふれあい会食会」はもちろん、市内の福祉施設にも慰問できず、活動を控えさせていただいています。

終息後は、今まで同様の活動をして「民踊」で皆様に笑顔にしていきたいと思ひます。ぜひ足をお運びください。お待ちしております。



連絡先 ■ 御殿場民踊グループ
〒412-0023
御殿場市深沢972-12
電話 0550-83-4125
【代表：日置 富貴子】

～御殿場・小山地区精神保健福祉会（通称：つくし会）～

つくし会は、会員相互が協力して正しい精神保健思想の普及啓発及び精神障害者福祉の増進を図り、併せて会員相互の親睦を深めることにより、精神障害者及びその家族が現在及び将来にわたって幸福を享受できる明るい社会づくりに寄与することを目的としています。

これらの目的を増進するために

- ① 会員相互の親睦及び助け合いを図る事業として毎年交流旅行を実施しています。
- ② 社会復帰の増進を図るため「むつみ作業所」と連携しています。
- ③ 福祉向上活動に取り組んでいます。
- ④ 精神保健福祉に関わる相談事業を行っています。
- ⑤ 毎月第1土曜日の午後1時30分からむつみ作業所において「話し合いの会」を開催しています。

当事者・家族・市民一般等どなたでもお待ちしております。



連絡先 ■ つくし会
〒412-0027
御殿場市西田中453-7
電話 0550-82-1164
【会長：辻井 啓】

東日本大震災復興支援活動10年の報告

2011年3月11日 今年で あの東日本大震災から10年になります。御殿場市のボランティア団体は被災の5月より、静岡県救援指定 岩手県山田町ボランティアセンターに入りました。最初の1年～2年はその他の被災地の災害復旧活動に参加、2年目からは岩手県・宮城県・福島県への津波原発被害者仮設住宅への慰問 サロン活動に参加する傍ら 福島原発被災地の視察 富岡町では原発被災者である語り部さんより被災時や避難時の生々しい体験を聞き参加者には涙する方も多くおりました。被災後7年目の9月10日～3日間で岩手県へ南三陸鉄道復旧した電車の中より海岸線の被災復興を視察、被災7年6ヶ月の月命日に当り 被災者でもある車掌さんの案内で海の見える高台に停車し 海に向い参加者全員で黙とうを捧げました。

また翌令和1年 被災8年目の10月 県東部ボランティア交流会総勢43名の内 御殿場から15名が参加、北三陸鉄道全線復旧復興視察の旅に、岩手県久慈から電車に乗り 田老町では スーパー堤防の過信が仇となった「万里の頂上・堤防」を見学、田老観光ホテル社長がホテル6階から堤防を越えて来る津波を撮影、堤防の手前を走る消防自動車や平然と走る自転車が津波に呑み込まれる 生々しい被災ビデオにより説明を受け参加者全員が胸を引き裂かれる思いや被災者の力強い復興魂を感じて来ました。

復興視察バスは、参加者の負担を最小限にするため 添乗員は無く 仮設住宅慰問サロン活動から参加下さっていた岩手県出身の御殿場の方に被災地の案内をしていただき、またお土産に新鮮でお手頃な海産物の紹介もいただき買い求めることが出来ました。

被災9年目の昨年は、過去の復興視察ボランティア参加の方より 新型コロナウイルス感染騒動により視察ボランティアが出来ないならせめて 被災地復興支援を兼ね、海産物を求めたいとの希望があり、岩手県出身の方にお願ひして、復興支援ボランティア活動として 海産物「昆布・わかめ・荳わかめ」を希望の方々にご協力いただき、2回に分け発注、その合計は332袋166,000円の支援が出来ました。被災地からもお礼の言葉も届き またご協力いただいた方々からは 次の支援活動時にも声を掛けてほしい旨の希望を聞いております。大変多くの皆様にご協力頂きコロナ禍の中唯一ボランティア活動が出来ましたこと、ご協力下さいました皆様に心より感謝申し上げます。



編集後記

今回の編集担当は「市婦連福祉グループ」、「御殿場市手をつなぐ育成会」、
「御殿場民踊グループ」、「精神保健福祉会つくし会」でした。
お問合わせ、ご意見等は、御殿場市ボランティア連絡協議会事務局までお願いいたします。

事務局 ■〒412-0042 御殿場市萩原 988-1 御殿場市民交流センター「ふじざくら」内
社会福祉法人 御殿場市社会福祉協議会 ☎ 0550-70-6801 Fax 0550-89-5501